

令和3年度2学期始業式 式辞

皆さん、おはようございます。

今日からいよいよ二学期が始まりました。

本来であれば、夏季休業中に部活動等で活躍した皆さんの紹介や、私達が大切にしている、「人として」の話をしたいところですが、今日は本題から入ります。

皆さんに伝えたいことは、ただひとつです。

コロナ感染拡大は、非常に状況が悪い。

人が動けば、流行が始まります。そして、今回は、デルタ株までもが加わっています。

4回目の緊急事態宣言は、効いていません。そして、頼みのワクチンもハンマーにはなっていない状況です。兵庫県下でも、ここ数日は1000人を超す感染者が出ています。そして、8月に入って、皆さんと同じ高校生の感染者は何百人という状況であり、そのほとんどが部活動での感染です。25日から既に始まっている大阪の小中学校でも、すでに、何十校が早々に臨時休業となっています。

今日からは、本校でも全員が動きます。いよいよ人が動きます。

皆さんの中にも、不安を抱えて今日、登校してきた人もいるでしょう。

皆さんは、どうしますか？どうしたいですか？

私は、何かあった時、自分の頭の中で、自分とこういう会話をします。

「人のせいにして、問題は解決しますか？」

たぶん、世界中の誰に尋ねても、「しない」と口を揃えて答える。にもかかわらず、我々は人のせいにしがちで、問題を放置してしまう。

でも、味方を変えれば、その問題がそこにあるということは、改善のチャンスがあるということなのです。

世の中は、必ずよき方向に向かいます。それなのに、その妨げになるものがあるとなれば、それは我々の持つ、最も非生産的で問題が解決しない考え方、

「人のせいにする」

というものだと思います。

姫商生の皆さん、誰かを批判しても、悲しんでも、そして、誰かがやってくれるだろうと思っても、誰も守ってはくれません。私達は、自分で、自分の身を守るしかありません。

背筋をピンと伸ばして、聞いて下さい。

「どうすれば、この状況下で生活できるのか？」

「どうすれば、この状況下で成長できるのか？」

「大人達は、この状況下で何をしているのか？」

という事をじっくり考え、じっくり見て、自分たちで考えてみてほしい。

極端な話、大人がこうしなさいといっているから、それに従っていればいい。皆がそうしているから・・・ は正直、もったいないと思います。

私事ですが、私は4人家族です。

嫁と社会人一年目の娘に、大学3年生の娘がいます。

6月に、家族会議をしました。私が、「ワクチンを打とうと思うがどう思う？」

と3人に質問しました。そしたら、下の大学生の娘がニコッと笑いながら、

「お父さんは公務員なんだから、打つのは当たり前でしょ。それに、生徒さん達もいるし、先生方もいるでしょ。打たないとあかんよ」と言われました。

たまげました。いつの間にか大人になったもんだとちょっぴり感動しました。

「わかった。じゃあ、みんなはどうする？」と聞くと、

「私らも打たないとお父さんが打つ意味ないじゃん」

と笑われました。彼女は、大学生ですが、この2年間、一日も大学に行けていません。

ずっとリモートです。やけっぱちになっても仕方ない状況ですが、毎日自宅で勉強し、私が帰ると母親とご飯を毎日作っています。

姫商生の皆さん、そして、教職員の皆さん、私達も家族です

自分がどうすればいいのか？

クラスでどうしなければいけないのか？

なにか役割分担できることはないか？

部活動で自分はどうすればいいのか？

何か役割分担できることはないか？

今日は、じっくりそのことについて、考える時間にしてほしいと節に願っています

感染しない方法は、みんな知っています。
あとは、どれだけしっかりと行えるかです。
これまでの感染対策を変えることは、マスクを取る場面はほぼないということ以外ありません。

変えなければならないのは、「一人ひとりの感染に対する心構え」です。

もう一度言います。

変えなければならないのは、「一人ひとりの感染に対する心構え」です。

さあ、やるべき事ははっきりしました。
今日からの姫商での家族としての生活を楽しむことも忘れてはいけません。
「時を守り、場を清め、礼を正す」のスローガンどおり、明るく、元気に過ごしてくれることを切に願っています。

私からは以上です。

令和3年9月1日

兵庫県立姫路商業高等学校長 塚田 誠司